

# 年頭所感



北海道開発局長

今 日出人

明けましておめでとうございます。新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月に3つの台風が北海道に上陸し、甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

なお、通行止めが続く国道274号日勝峠においては、平成29年秋頃の開通を目指し、冬期であっても可能な復旧工事を進め、早期復旧に向けた取組を進めます。

さて、「世界の北海道」をキャッチフレーズとする第8期目の北海道総合開発計画が昨年3月に閣議決定され、その2年目に当たる本年は、引き続き、北海道の強みである食や観光を担う「生産空間」の生活機能維持や人口対流の促進に取り組んでまいります。

このため、高規格幹線道路ネットワークの整備や国際バルク戦略港湾である釧路港の整備のほか、農地の大区画化、漁港の高度衛生管理対策等の取組を進めています。また、国際線旅客需要等に対する新千歳空港国際線ターミナル地域再編事業、「シーニックバイウェイ北海道」の促進などに取り組んでおります。そのほか、「人こそが資源」と捉え、「北海道価値創造パートナーシップ」活動を展開しているところです。

併せて、アイヌ文化の復興等を促進するための「民族共生象徴空間」について、2020年の一般開放に向け、整備を進めているところです。

先ほど申し上げましたとおり、昨年は、8月に3つの台風が北海道に上陸するというかつてない事象が発

生し、「生産空間」が担う食料の供給等に関しても、甚大かつ長期的な被害がもたらされました。

これに対し、大きな被害を受けた河川を中心に、「北海道緊急治水プロジェクト」による緊急的な対策を実施するとともに、「平成28年8月北海道大雨激甚災害を踏まえた水防災対策検討委員会」での議論を踏まえ、今後の水防災対策に反映してまいります。また、近年、暴風雪などの激甚化のみならず、積雪時における高潮の発生といった複合的な災害が発生しており、水災害、地震、津波などへの対応のみならず、積雪寒冷地特有の対応が必要となっています。

このため、治水対策はもとより、ハード・ソフト両面の防災・減災対策を講じ、災害に強い国土づくりを進めてまいります。

建設業者の方々がその役割を十分に発揮できるよう、人口減少下にあっても担い手の安定的な確保・育成等の取組を推進するほか、人口減少を上回る生産性向上を図るため、本年を「生産性革命」を前進させる1年と位置づけ、i-Construction等のより一層の推進を図ってまいります。

現場力は国土交通行政の底力です。経験や技術力、総合力という強みを最大限に発揮し、災害時などにおいて、官民連携の上で地域の声に耳を傾けながら、我が国全体の発展に全力を尽くしてまいります。

最後になりますが、皆様方の御健康と益々の御活躍を御祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。